

クラス	Q306	担当教員	小平 英志
テーマ	パーソナリティと適応、精神的健康		
著書・論文 研究課題等	著書 『生きがい感：「自分探し、生きる」とは？』 松島公望・橋本広信（編） ようこそ！ 青年心理学－若者たちは何処から来て何処へ行くのか、第9章、2009年、ナカニシヤ出版 論文 『高校生における仮想的有能感と学業に関するコミュニケーション』 心理学研究 79巻、 2009年、共著／『大学適応の階層性に関する検討－保育系短期大学生を対象に－』 子ども 発達学論集、3号、2011年		
ゼミナール概要			
キーワード：パーソナリティ、適応、精神的健康、青年期			
<p>目的と内容 現代は、著しく環境や価値観が変化する時代であり、人々は常にそれに応じることが求められています。環境へと適応していく様には個人差があり、その独特の調整の仕方を決めているのがパーソナリティです。パーソナリティは、人を生きやすくし、また生きにくくします。ゼミでは、「適応」と「精神的健康」の2つをキーワードとして掲げ、現代において、人が外的・内的環境に適応し生きていく上で必要なものとは何かを、パーソナリティの視点から検討を行います。抽象度・自由度の高いテーマですので、まずはひとりひとりの身近な出来事や事例、素朴な疑問から出発し、最終的には学術的研究の形にしていきます。</p>			
<p>これまでの卒業論文のキーワード 自己評価、自己不一致、自己形成、アイデンティティ、本来感、後悔、抑うつ、依存、グループコミュニケーション、ソーシャルスキル、印象形成、就職活動、共有・専有空間、居住空間、教師－児童関係、ペットとの関係など</p>			
<p>方法 心理学の研究のスタイルや論の展開、証拠の示し方などを理解した上で、実際に自分の興味を基に研究を実施します。実証的な方法（調査法・観察法・面接法・実験法等）を中心に研究を進め、卒業論文に向けたスキル・アップをめざします。同時にレポート作成や統計的検定についてもトレーニングします。</p>			
<p>授業計画 まずは学術論文の読み方から始める予定です。文献を読み、研究の方法や論文の書き方を理解した後、実際にデータを収集し研究を行います（グループ研究を予定）。お互いに研究の進捗状況を報告したり、議論したりする機会を設け、多くの構成概念と研究に触れていきます。3年次の終わりには、各自、最も興味のあるテーマへと絞り込んでゆき、卒業研究の企画を行います。4年次にはそれぞれのテーマに従って個人研究を進め、最終的に卒業論文としてまとめていきます。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミのスローガンは「がっつり、どっぷり心理学」です。心理学の証明の方法や説得の仕方は、卒業後にどのような道に進む上でも役立ちます（少なくとも担当教員はそういうふうと考えて教えています）。 ・人の心理について深く考えたり、友達と真面目に議論することができるゼミをめざしています。知的な発想や発見を生む雰囲気全員で作っていきましょう。心について議論したい人、大歓迎。 ・3年生の前半は論文や研究を理解するトレーニングの時間になります。数多くの課題をこなしてもらう予定です。覚悟しておいてください。<u>手間を惜しむ人や面倒くさいのが嫌いな人にはつらいゼミになる</u>と思います。 ・3年生と4年生で積極的に交流をしていく予定です。先輩・後輩達の関心や研究内容を知ることで、心理学的研究の知識を深めていって欲しいと思います。 			